

R6年度 第1回 景気動向調査報告書

1. 調査目的

本調査を毎年度内に2回に渡り実施することで同地区内における経済動向等に関する情報分析を行い、効果的な経営支援の実施並びに事業活動の方向性を検討する材料となるよう情報提供することを目的とする。

2. 調査の時期

調査対象期間：令和5年10月～令和6年3月

3. 調査対象企業及び回答状況

業種	項目	調査対象企業数	回答数	回答率 (%)
	全業種	147	44	29.9
	卸売・小売業	27	8	29.6
	サービス業 (不動産業、飲食店 宿泊業、その他	91	23	25.3
	製造業	6	3	50.0
	建設業	23	10	43.5

4. 調査区分

商業関連 ①卸売・小売業 ②サービス業（不動産業・飲食店・宿泊業・その他）

工業関連 ①建設業 ②製造業

5. 調査事項

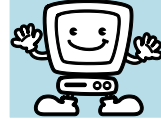


商業関連 ①売上高 ②採算（粗利） ③客数 ④客単価 ⑤経費

⑥資金繰り ⑦従業員数 ⑧金融機関の融資状況 ⑨今後の見通し（売上）

工業関連 ①売上高 ②採算（粗利） ③引き合い ④資金繰り ⑤従業員数

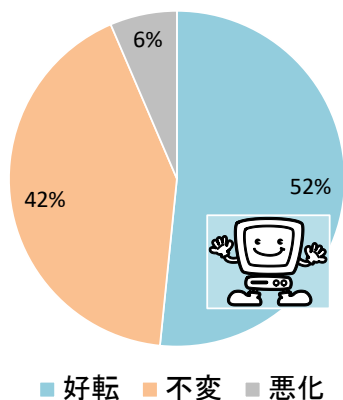
⑥在庫数量 ⑦受注・製品単価 ⑧設備投資 ⑨今後の見通し（売上）

6. 各調査項目の判断目安

特に好調	好調	まあまあ	不振	極めて不振
				
増加・好転 目安 50%以上～	増加・好転 目安 40%以上～	不変 目安 30%以上～	減少・悪化 目安 40%以上～	減少・悪化 目安 50%以上～

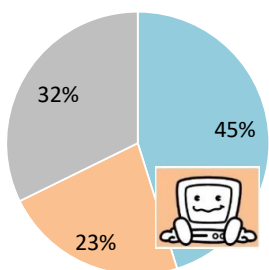
調査結果【商業関連】

【今後の見通し（売上）】



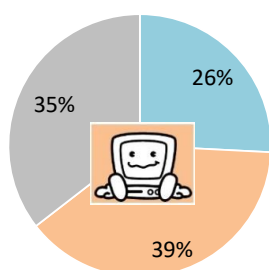
新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことなどにより、入域観光客数の増加や、社会経済活動の正常化が進んでいる。一方で、世界的な原材料価格高騰の下押し圧力を受け、経費が増加し、利益率が低下している事業者も確認できる。主な問題点としては、仕入価格の上昇、諸経費の増加、人件費の増加といった項目を上げる事業者が多い。同傾向はしばらく継続するものと考えられるため、販売価格への反映や固定費の見直し等の対策が必要となる。また、新型コロナウイルス関連融資等の支援策が次々に終了している。返済が開始されている事業者については、資金繰り管理の徹底や金融機関との連携による運転資金の確保が求められ、早めに対策することが重要である。

【売上高】



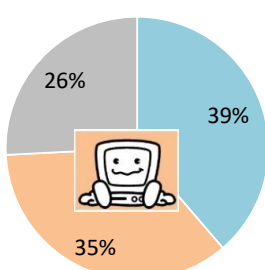
■ 増加 ■ 不変 ■ 減少

【採算（粗利）】



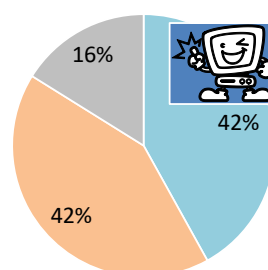
■ 増加 ■ 不変 ■ 減少

【客数】



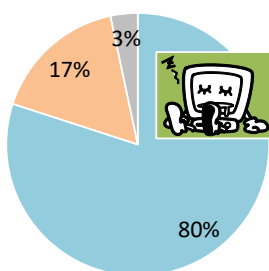
■ 増加 ■ 不変 ■ 減少

【客単価】



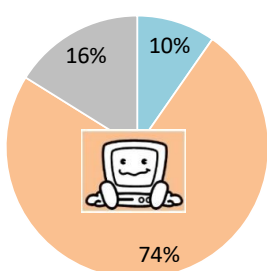
■ 増加 ■ 不変 ■ 減少

【経費】



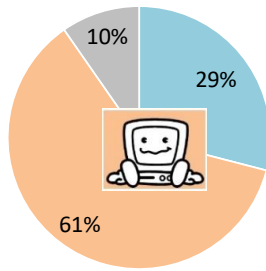
■ 増加 ■ 不変 ■ 減少

【資金繰り】



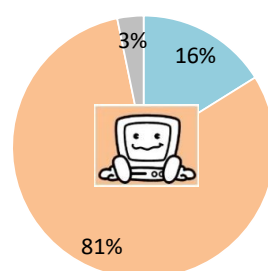
■ 好転 ■ 不変 ■ 悪化

【従業員数】



■ 増加 ■ 不変 ■ 減少

【融資状況】

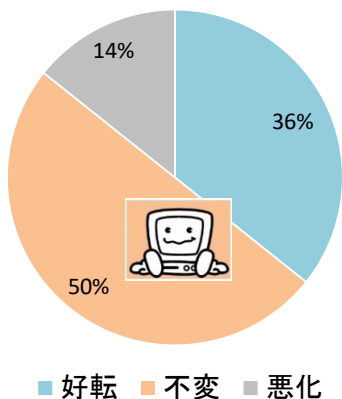


■ 容易 ■ 不変 ■ 困難

特に好調	好調	まあまあ	不振	極めて不振
増加・好転	増加・好転	不変	減少・悪化	減少・悪化
目安 50%以上～	目安 40%以上～	目安 30%以上～	目安 40%以上～	目安 50%以上～

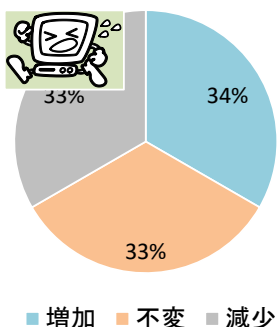
調査結果【工業関連】

【今後の見通し（売上）】

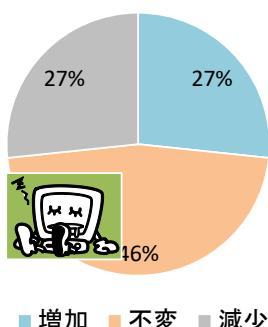


主な経営上の問題では、原油・原材料高や経費の増加の他、技術者不足、従業員確保など人材に関する項目が上がっている。後継者問題や技術者の育成については、時間をかけて準備をする必要があるため計画的に進めていく事が重要である。今後も人材不足は継続する事が予測されており、計画的な人材育成と併せて、ナレッジマネジメントの採用、機械化・DX推進による生産性の向上など、新たな取組が求められる。また、新規の設備投資については、製造業は0%、建設業が10%となっている。今後は借入金利の上昇や価格高騰などの影響も考慮する必要があり、計画的に設備投資を検討していきたい。

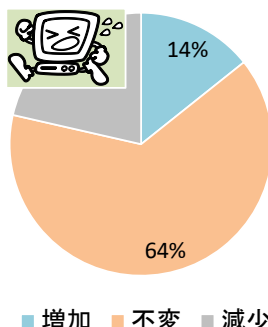
【売上高】



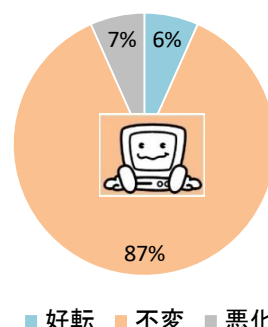
【採算（粗利）】



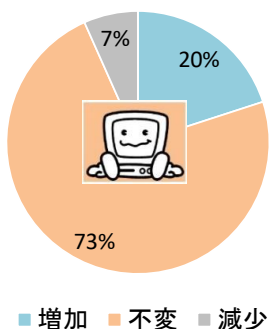
【引き合い】



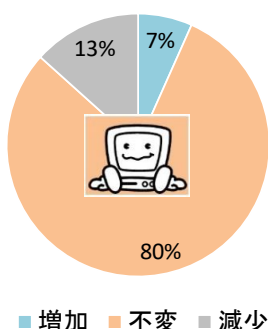
【資金繰り】



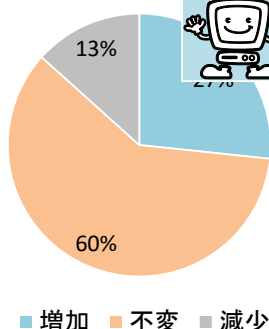
【従業員数】



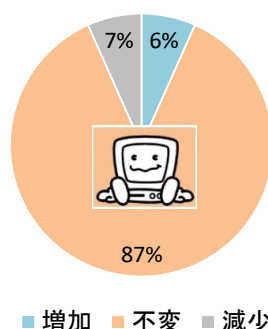
【在庫数（製品）】



【受注・製品単価】



【設備投資】



特に好調	好調	まあまあ	不振	極めて不振
増加・好転	増加・好転	不変	減少・悪化	減少・悪化
目安 50%以上～	目安 40%以上～	目安 30%以上～	目安 40%以上～	目安 50%以上～

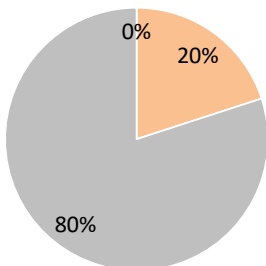
1. 主要3項目（売上高・採算・資金繰り）から見た業種別景気動向

【小売業】

主な今期直面している経営上の問題

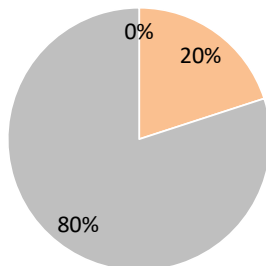
仕入価格上昇（21.4%）、従業員確保難（21.4%）等

【売上高】



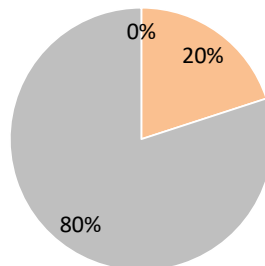
■ 増加 ■ 不変 ■ 減少

【採算（粗利）】



■ 増加 ■ 不変 ■ 減少

【資金繰り】



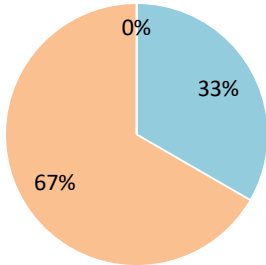
■ 好転 ■ 不変 ■ 悪化

【卸売業】

主な今期直面している経営上の問題

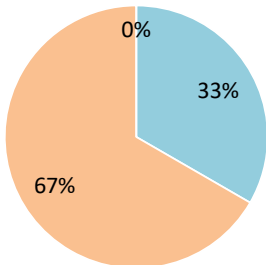
人件費増加（25.0%）、駐車場確保難（16.7%）、消費税引き上げ（16.7%）等

【売上高】



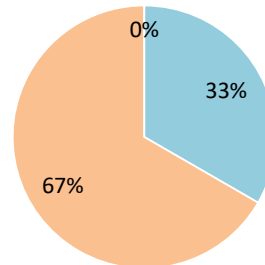
■ 増加 ■ 不変 ■ 減少

【採算（粗利）】



■ 増加 ■ 不変 ■ 減少

【資金繰り】



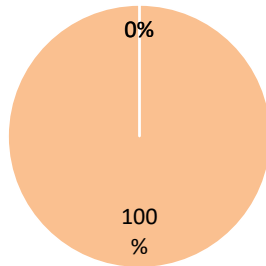
■ 好転 ■ 不変 ■ 悪化

【不動産業】

主な今期直面している経営上の問題

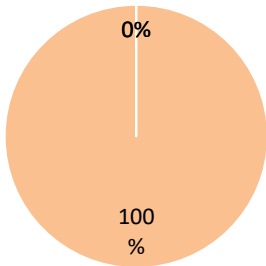
売上減小（30.0%）、従業員確保難（20.0%）等

【売上高】



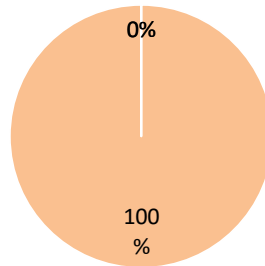
■ 増加 ■ 不変 ■ 減少

【採算（粗利）】



■ 増加 ■ 不変 ■ 減少

【資金繰り】



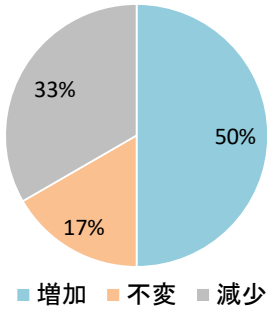
■ 好転 ■ 不変 ■ 悪化

【飲食店】

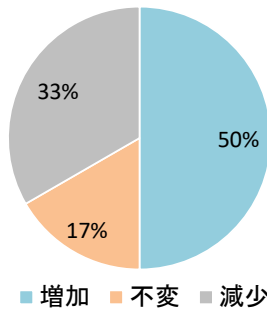
主な今期直面している経営上の問題

仕入価格上昇（20.0%）、諸経費増加（20.0%）、人件費増加（20.0%）、
利益率低下（20.0%） 等

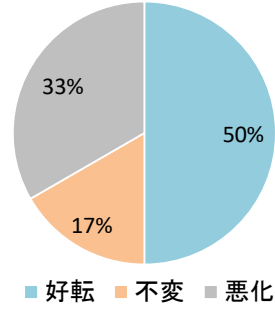
【売上高】



【採算（粗利）】



【資金繰り】

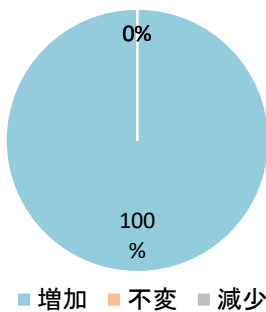


【宿泊業】

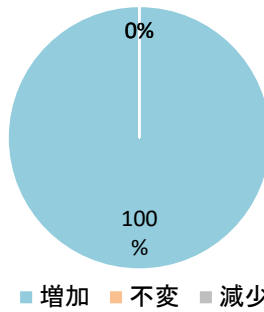
主な今期直面している経営上の問題

仕入価格上昇（33.3%）、従業員確保難（33.3%）

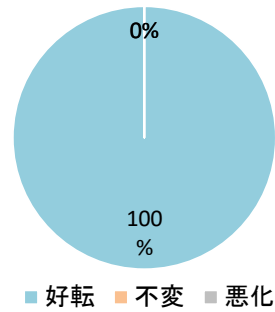
【売上高】



【採算（粗利）】



【資金繰り】

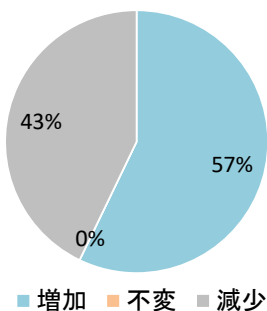


【サービス業】

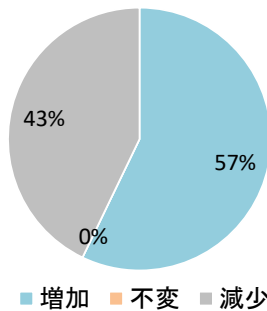
主な今期直面している経営上の問題

従業員確保難（18.5%）、諸経費増加（18.5%）、人件費増加（18.5%） 等

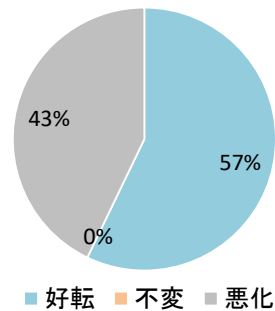
【売上高】



【採算（粗利）】



【資金繰り】

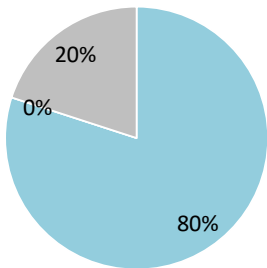


【その他】

主な今期直面している経営上の問題

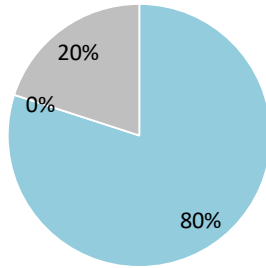
駐車場確保難（33.3%）、諸経費増加（33.3%）等

【売上高】



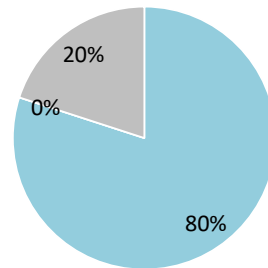
■ 増加 ■ 不変 ■ 減少

【採算（粗利）】



■ 増加 ■ 不変 ■ 減少

【資金繰り】



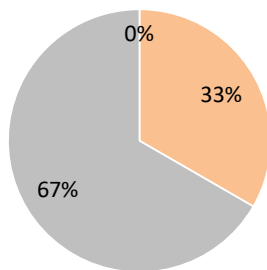
■ 好転 ■ 不変 ■ 悪化

【製造業】

主な今期直面している経営上の問題

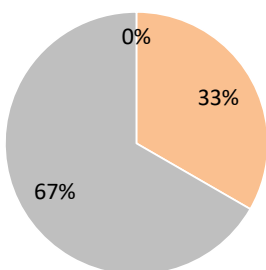
後継者問題（33.3%）、原油・原材料高（16.7%）、設備不足・老朽化（16.7%）、

【売上高】



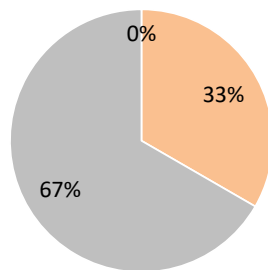
■ 増加 ■ 不変 ■ 減少

【採算（粗利）】



■ 増加 ■ 不変 ■ 減少

【資金繰り】



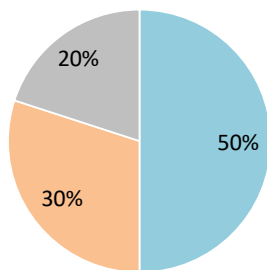
■ 好転 ■ 不変 ■ 悪化

【建設業】

主な今期直面している経営上の問題

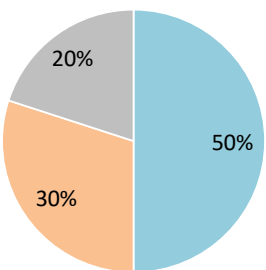
売上高の減少・停滞（25.7%）、技術者不足（17.1%）人件費増加（17.1%）等

【売上高】



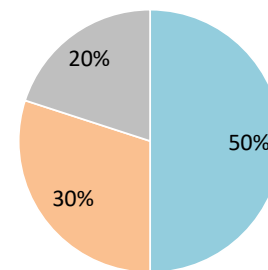
■ 増加 ■ 不変 ■ 減少

【採算（粗利）】



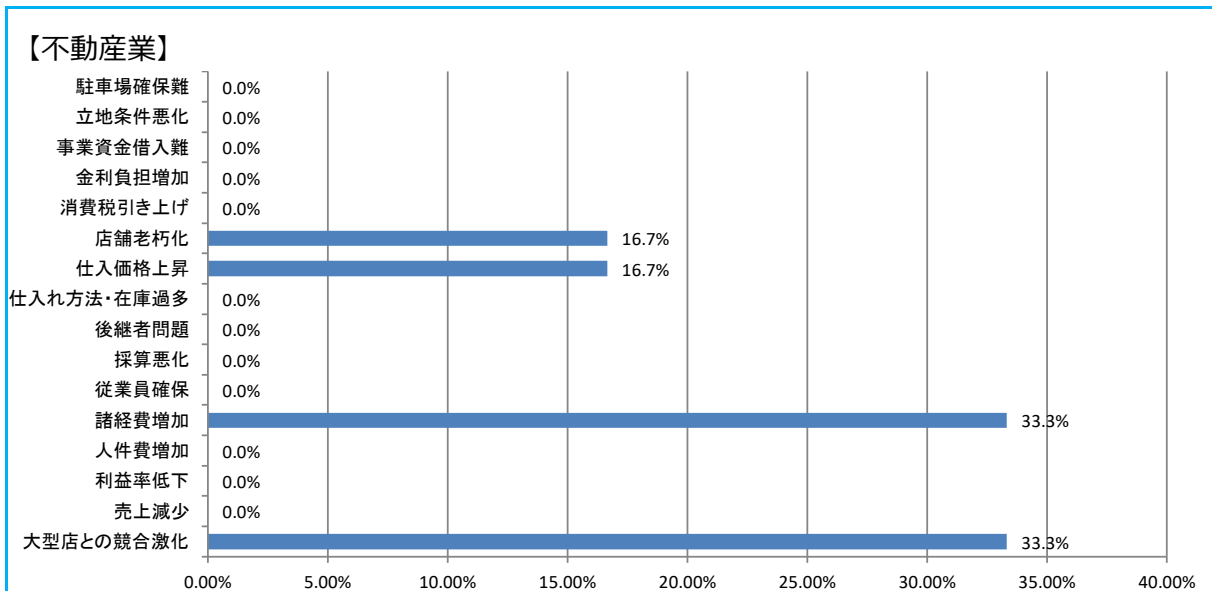
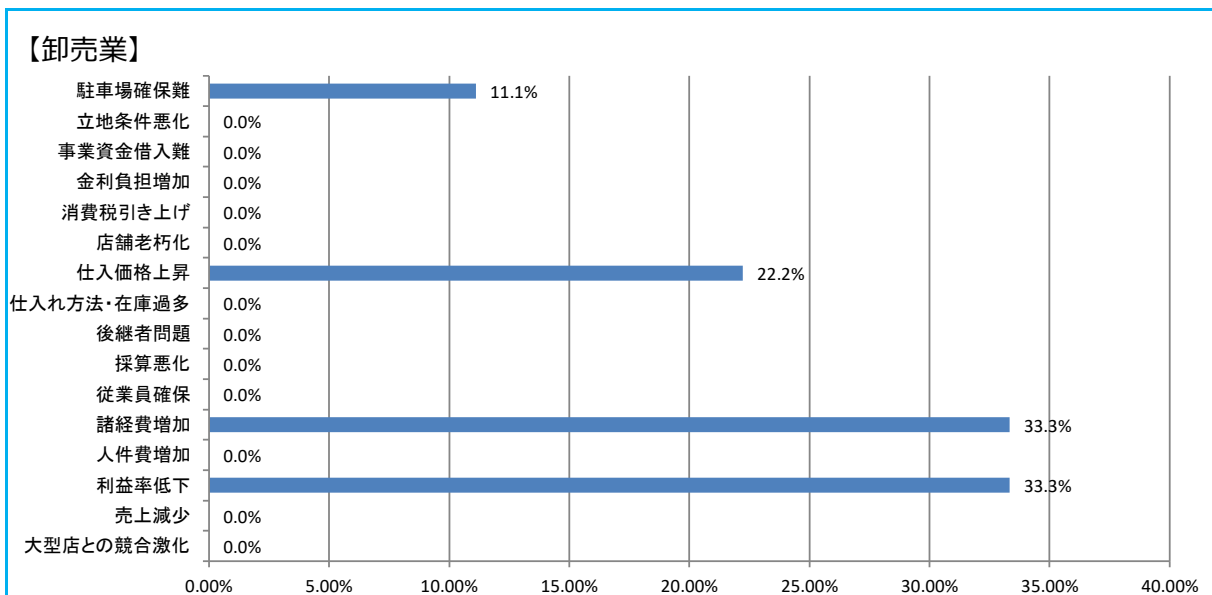
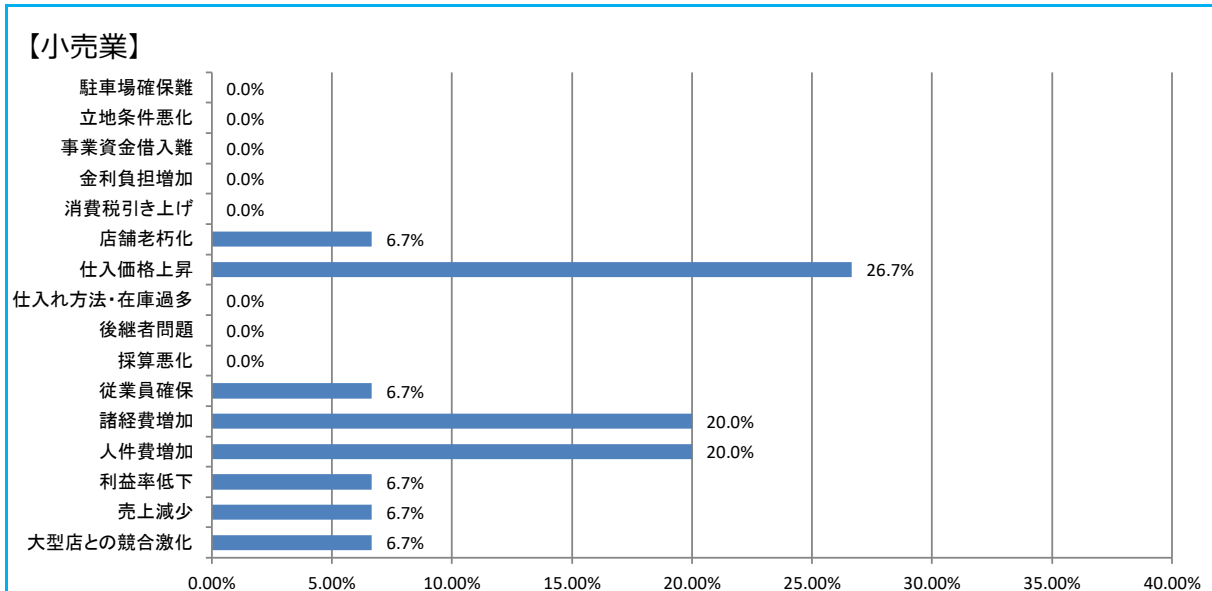
■ 増加 ■ 不変 ■ 減少

【資金繰り】

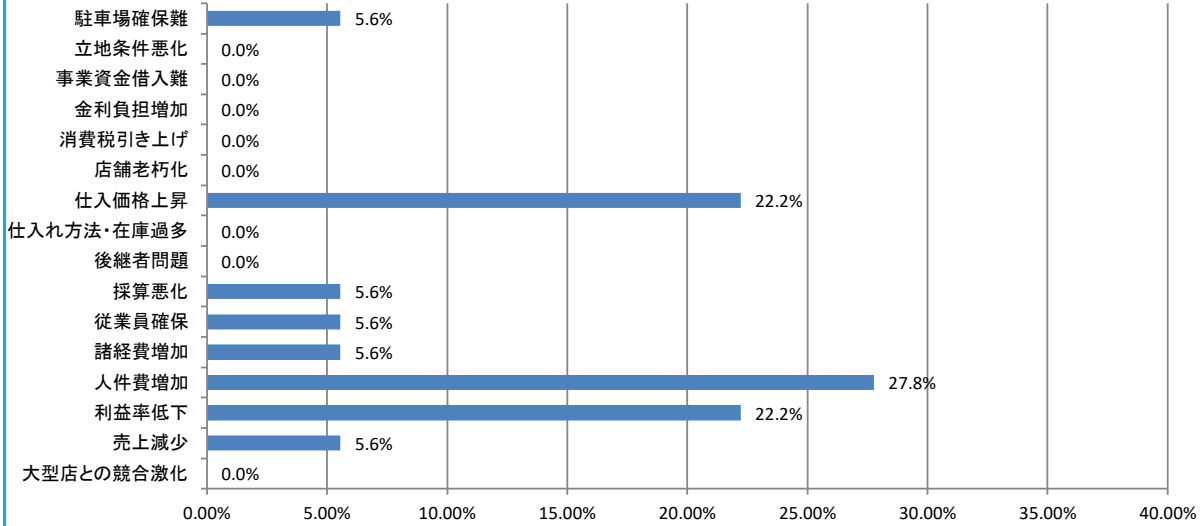


■ 好転 ■ 不変 ■ 悪化

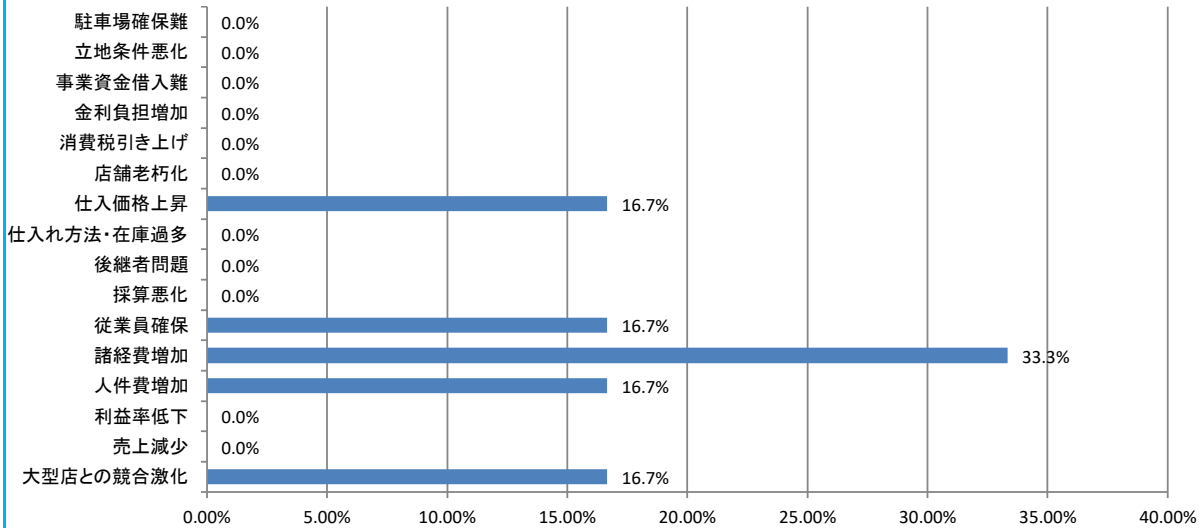
2. 経営上の問題点について



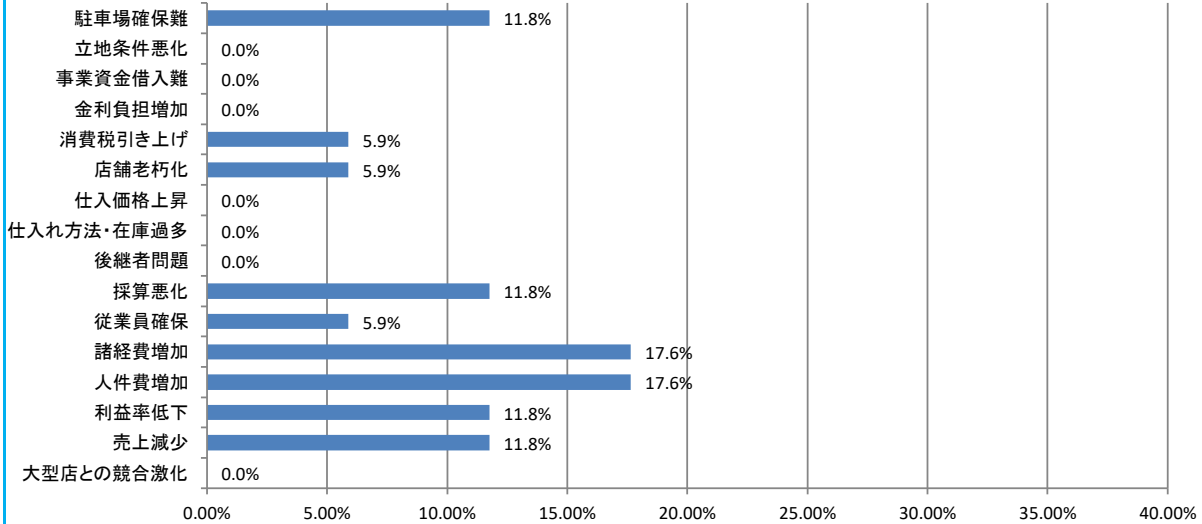
【飲食店】



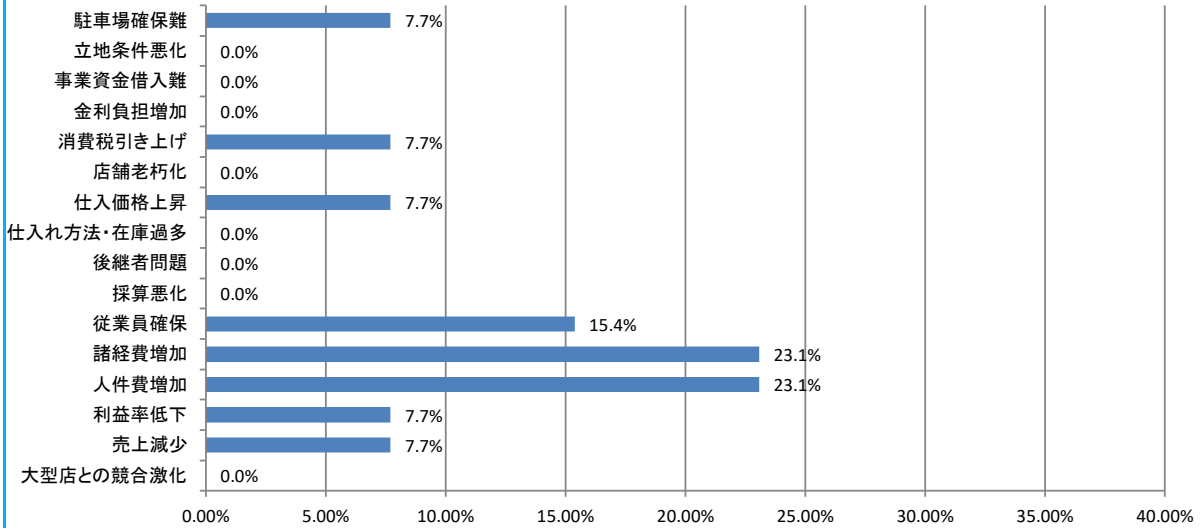
【宿泊業】



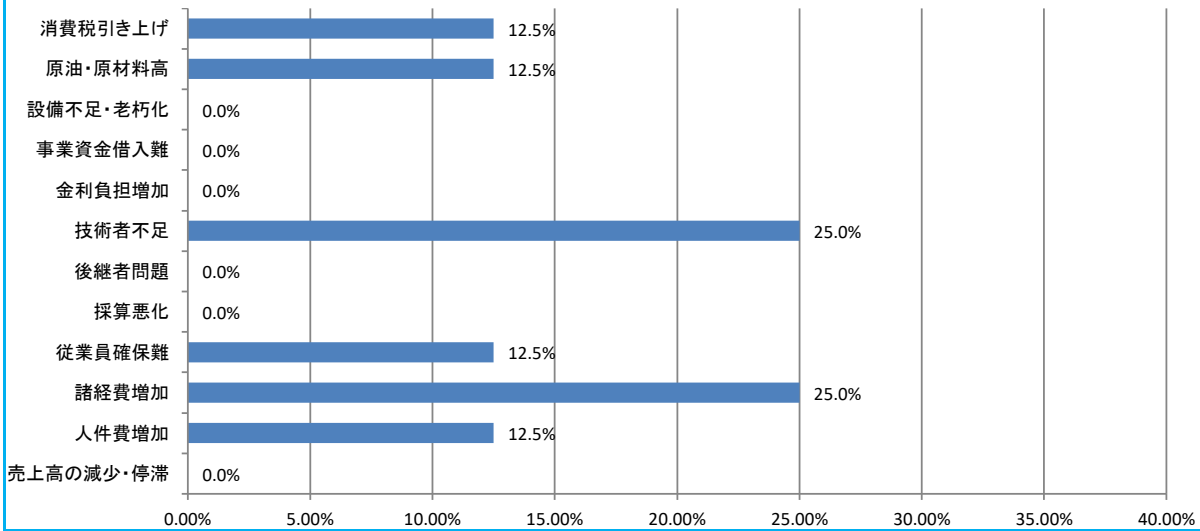
【サービス業】



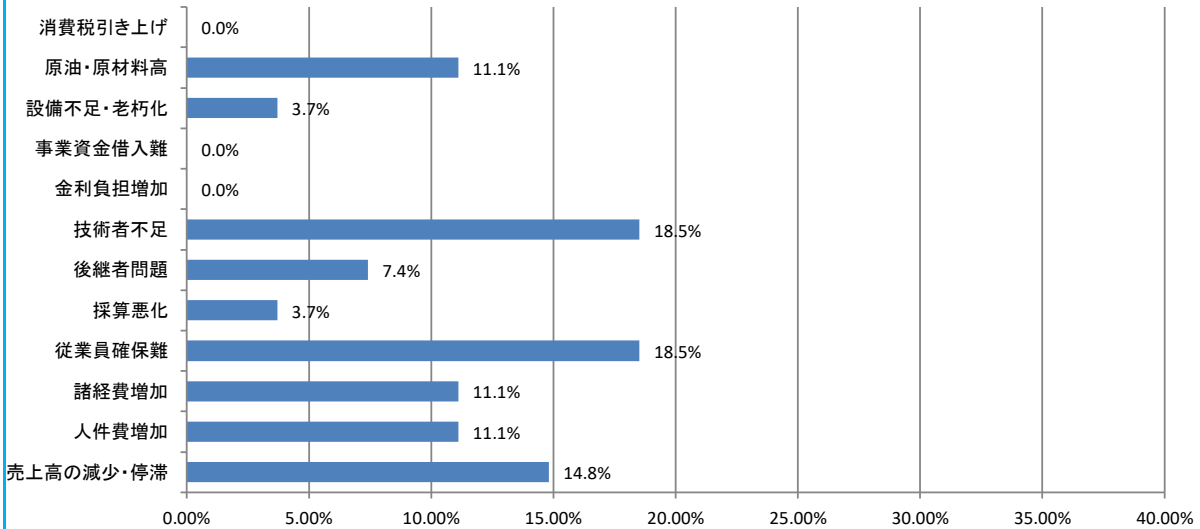
【その他】



【製造業】

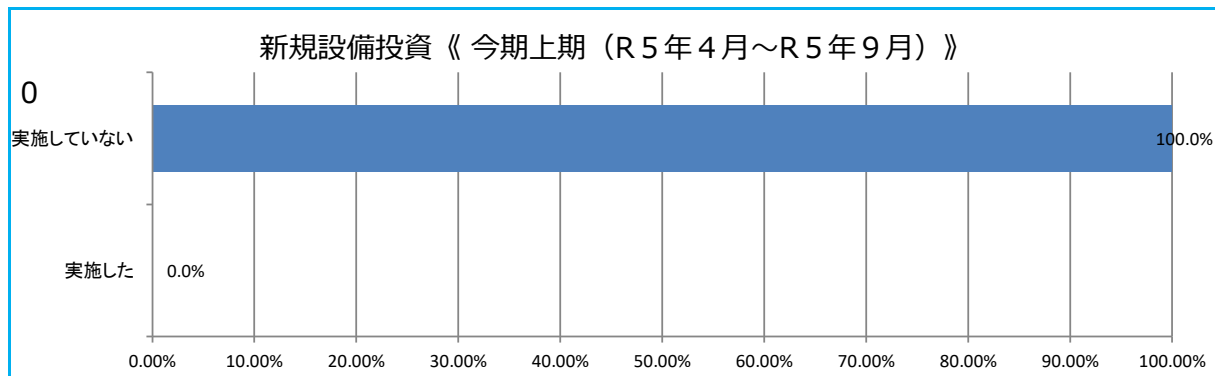


【建設業】



3. 新規設備投資状況

【製造業】



【建設業】

